

五日市コミセン
だより No.15
令和6年11月 6日発行
通算159号

ゆい 結っこ

五日市
コミュニティセンター
八幡平市川原25番地2
電話 72-2961

秋の味覚を楽しむ会

10月20日(日)に五日市コミセンで開催した「秋の味覚を楽しむ会」は五日市振興協議会、日本遺産奥南部漆物語推進協議会、県立大学との共催。地域の方45名が漆器に盛付けた秋の味覚を味わいました。(裏面の岩手日報の掲載記事をご覧ください)



秋のパークゴルフ大会結果

10月13日(日)の大会は細野パークゴルフ場で五日市地区と細野地区から20名が集まり対抗戦を行いました。残念ながらグループ優勝、個人優勝ともに細野地区に独占されてしまいましたが、いつもと違うメンバーとの交流ができとても楽しい会になりました。五日市地区の中では吉村さんが前回に続き優勝し会長杯のトロフィーが授与されました。



12月のシルバーリハビリ体操 (五日市お達人倶楽部)

毎週第1・第3火曜日に実施中
日にち 12月3日・12月17日
時間 13時30分~14時30分
場所 五日市コミュニティセンター
参加費無料・申込不要
ヨガマットが新しくなりました



除雪支援事業

五日市振興協議会では除雪支援を希望する世帯に対し除雪支援活動を行っています。
以下に該当する世帯はお知らせください。
なお、除雪者が見つからない場合は希望に添えかねる場合があります。
対象世帯：65歳以上の高齢者のみの世帯
玄関から道路に出るまで必要最小限の除雪が困難と協議会が認めた世帯
募集期間：随時受付
問合わせ：五日市コミセン 伊藤

漆器の良さ 触れて実感

秋の味覚楽しむ会

八幡平

八幡平市の
五日市振興協

議会(羽沢良和会長)などは20日、同市川原の五日市コミュニティセンターで、漆器を使った秋の味覚を楽しむ会を開いた。



漆器に入った郷土料理を味わう参加者

地域住民ら約50人が参加。住民が所有し、冠婚葬祭で使われてきた美しい赤色の膳とわんを使い、けんちん汁や新米のおにぎり、アゴの塩焼きなどを味わった。漆器と郷土料理について研究する社会学博士の脇野博さんが「江戸時代の郷土料理」と題して講演した。同協議会と日本遺産奥南部漆物語推進協議会、県立大の共催。2020年に日本遺産に認定された安比川流域の漆文化の歴史を振り返り、漆器を実際に使って食事をすることで先人の知恵に親しむことを目的としている。

羽沢会長(65)は「地元の人たちにも漆器を見て触って改めて良きを感じてもらい、漆文化発信による地域活性化につなげていきたい」と力を込める。

令和6年10月24日付

この記事は岩手日報の許諾を得ています。許諾番号00964

お知らせ

あづまるべ

11月15日(金)10時～

焼き肉のたれ作りの後、昨年作ったたれで焼き肉を試食します(5名まで)
参加希望の方は11月12日(火)までに連絡ください。